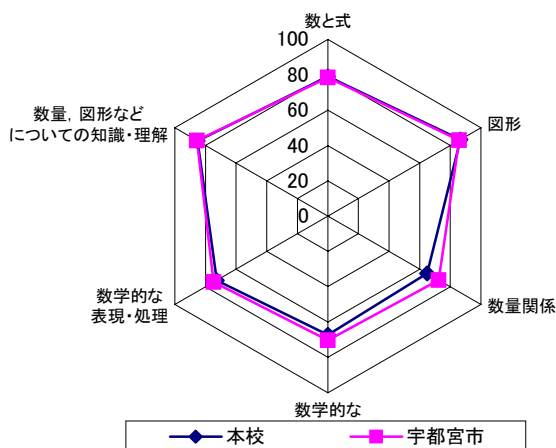


宇都宮市立瑞穂野中学校第1学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

| | | 本年度 | |
|-----|-------------------|------|------|
| | | 本校 | 宇都宮市 |
| 領域別 | 数と式 | 79.0 | 78.5 |
| | 図形 | 86.6 | 85.7 |
| | 数量関係 | 64.8 | 72.4 |
| 観点別 | 数学的な見方や考え方 | 67.3 | 70.2 |
| | 数学的な表現・処理 | 72.6 | 74.7 |
| | 数量、図形などについての知識・理解 | 85.1 | 85.4 |
| | | | |



★指導の工夫と改善

| 領域 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|-----------------|--|---|
| 数と式 (79.0%) | 文字式や方程式の計算に関する問題は宇都宮市の平均正答率とほぼ同じであるが、数量を表す不等式や方程式の利用に関する問題の正答率は宇都宮市の平均正答率より低い。特に方程式の利用に関する問題の平均正答率が57.7%と最も低く、理解が不十分である。 | 文書を読み取り数字や文字を使って表すことが苦手な傾向があるため、数量の関係を等式や不等式で表現する問題を授業の中で多く取り入れていく必要がある。 |
| 図形 (86.6%) | 点対称や線対称に関する問題の平均正答率は宇都宮市の平均正答率を上回っている。平面図形の図形に関する問題は定着していると思われる。 | 点対称な図形について、再度授業で確認する必要がある。点対称や線対称に関する問題は、たくさんの作図を通して反復練習を行った結果、定着したと考えられる。今後も図形の指導については、作図などの操作的活動を重視し、図形の概念を養っていくことが大切である。 |
| 数量関係 (64.8%) | すべての問題において宇都宮市の平均正答率よりも低い。特に、比例のグラフの比例定数に関する問題では、平均正答率が40.8%と最も低く理解が不十分である。 | 定点を通るグラフの求め方と反比例の式の求め方を再度授業で確認する必要がある。グラフの学習については、変域が負の数まで拡張されるため、負の数の範囲の取り扱いを慎重にする必要がある。 |
| | | |
| | | |
| | | |